

学校教育目標

「やさしく かしこく たくましい子ども」の育成

合言葉『やさしく かしこく たくましく』

児童の実態 ○素直で，明るく，正直，子どもらしさがある ○目的意識を明確に持てば，一生懸命やりぬく ○信頼する教員から指導を受けたことは守ろうとする ○概ね，落ち着いて学習に取り組める ○研修の成果として文章を読み取る力がつきつつある △家庭環境，生育歴に厳しい面がある △基礎的知識・技能があまり定着していない △学力差が大きい △ささいなことが原因で子ども同士のトラブルがある △不登校傾向の子どもが増えている		児童につけさせたい力 ○相手の立場や気持ちを考え，思いやる力 ○生活のルールとマナーの定着 ○基礎・基本となる確かな学力 ○主体的に学習に向かう姿勢 ○学習の積み上げ（家庭での学習習慣の定着） ○自分の考えをわかりやすく伝える力 ○お互いに認め合い，高め合う姿勢 ○計画的，継続的に物事に取り組む力 ○進んで運動，体力づくりを行う姿勢 ○基本的な生活習慣の確立
--	--	---

経営の基調・目指す児童像 ※ やさしい子 …… 豊かな心を持った品位のある子ども 互いを思いやり，助け合う子ども 心をあわせ，磨き合う子ども ※ かしこい子 …… 確かな学力を身につけた子ども 学ぶ習慣を身につけた子ども 自ら学び，考える力のある子ども ※ たくましい子…… 健康な心と体をつくり，正しい判断ができる子ども 意欲を持ち，自らの課題にねばり強く立ち向かえる子ども 働くことや奉仕することを大切に考え，実践する子ども
めざす教師像 ○ 目の前の子どもに正対し，子どもの人格成長に全力を尽くす教師 ○ 子どもとの触れ合いを大切にし，受容のできる教師 ○ 人間関係を大切にし，お互いを認め合い励まし合い，自己研鑽に励む教師 ○ <u>子どもの基本的人権を尊重する教師</u> ○ 子どもに基礎学力をつけるために，生きた授業のできる教師 ○ <u>様々な課題を他の教職員と協力し、組織的に解決しようする教師</u>

	経営の基本方針 一人一人を生かす教育と節度のある学校生活の推進
めざす学級経営	（１）豊かな信頼関係が形成され，学級の一員としての存在が実感できる。 （２）子どもに新しい知識や技術が身についたという喜びがある。 （３）子どもが，自己の課題をやり遂げたという満足感がある。 （４）精神的な安定が図られ不安等が解消される土壌のある学級である。

本年度の教育活動の柱			
基礎的・基本的な知識や技能の習得	思考力，判断力，表現力等の育成	基本的な生活習慣の育成	豊かな心と健やかな体の育成
○読む，書く，話す，計算の力の育成・定着 ・音読練習とそれを生かせる場の設定 ・書くことの習慣づけ ・発表，スピーチ等 ・繰り返しの漢字練習，計算練習 （ドリル・プリント学習の継続） ・漢字・計算大会，漢字検定 ・新聞を学習活動に活用 ○児童の実態に即したきめ細かい指導と系統的な学習の推進 ○学習の意欲化 ○望ましい学習習慣の確立 ○教師の指導力・授業力のスキルアップ ○個別指導の充実 ・担外教員等による個別指導 ・<u>ICT 機器を生かした個別最適な学び</u> ・<u>放課後学習室等による学習補充</u> ・<u>ドリルプラネットを活用した個に応じた学習の充実</u>	○言語活動の充実 ・「読む，聞く，話す，書く」の中でも特に「読み取る力，説明する力」<u>自分の体験等を踏まえて考えを述べる力や書く力</u>，人と上手にコミュニケーションする力」をつけるための教材や場の工夫 ・生活科，総合的な学習の時間の学習等で成果を発表する場の設定 ・<u>読書タイム，図書室の積極的な活用</u> ・日常的に表現する場を設定 ・教室内の言語環境整備 ○主体的・対話的で深い学びのさらなる充実 ・<u>振り返りによる学びを深める授業の工夫</u> ・<u>話し合い，学び合いの形態等、対話的な学習になるような授業形態の工夫</u> ・<u>探究的な学びの推進（生活科、総合的な学習）</u> ○主体的な学びの推進 ・<u>知的好奇心をくすぐる授業の工夫</u> ・<u>発問を工夫して主体性を育てる授業展開の充実</u>	○よりよい人間関係の醸成 ・<u>進んで行うあいさつの励行</u> ・礼儀正しい言葉や態度 ・ふわふわ言葉の推進 ・人の話をしっかりと聞く姿勢 ○集団生活のルールを守り，社会的なマナーを身につける ・<u>5分休憩の中で次の時間の授業準備ができる生活リズムの確立</u> ・靴箱の整頓 ・名札の校内着用 ・静かな廊下歩行，清掃の励行 ・通学路の歩き方，交通ルールの徹底 ・食事のマナー，服装 （「形は心を表し，心は形に表れる」→マナー，モラル，ルールの日常的指導） ○きれいな教室，学校にするため，進んで活動に励む（「勤労を尊ぶ」「愛校心」の具現化） ○ユニバーサルデザインを生かした学級環境の整備	○互いに尊重し，理解し合い，人と協調し協力する力を伸ばす ○子ども同士の豊かな人間関係を育成する ・子どもの遊び（特に集団遊び）の指導を通して，集団性，社会性を育てる ・「遊び」の教育的効果を意識し，教師も一緒に遊ぶ機会を増やす ・青空学級（異年齢集団による活動） ・WEB Q-Uを活用して、学級の子ども同士の豊かな人間関係を育成する。 ○道徳教育の充実 ○特別支援教育の充実 ・<u>特別な支援を要する児童の個別的教育支援計画・指導計画の教職員間での共有</u> ・<u>特別支援教育に関する校内支援体制の充実</u> ○食育の推進（食に関する指導と授業実践） ○体力づくり ・体育学習の充実 ・運動の日常化 ○<u>体験を通して感受性・情操を培う</u> ・<u>飼育栽培活動</u>

